

川上産業株式会社

SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



～国際学院中学高等学校様と共にプチプチ®リサイクル編～



経緯

川上産業株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同

→ループリサイクル®（当社の資源循環システム）を運用事例増加中！

課題・・・物量、回収、分別など。皆様と協力体制が必要！

→全国の学校でリサイクルとSDGsを学んでもらうために回収ボックス（パール®製）を設置事例増加中！国際学院中学高等学校様にもご紹介。

→同校でSDGs講演会を行い、プチプチ®回収ボックスを同校にも設置いただくことになる。現在運用中。



プラごみゼロ化

※講演で使用した資料の一部抜粋。

■主な取り組み

・プチプチ回収ボックスの設置

企業や公共団体のリサイクル活動に賛同し、回収ボックスを提供しています。

社内でも各事務所に回収ボックスを設置して使用済みのプチプチを回収し、製品の原料として再利用しています。



・ループリサイクルの推進

自社製品に限らずお客様で使用済みとなった気泡緩衝材やポリ袋、ストレッチフィルムなどのポリオレフィン包材を回収し、製品の原料として再利用しています。



・生分解性製品の開発



プチプチ環境宣言2030 ~くうきとともにだちを持続できる社会へ

※講演で使用した
資料の一部抜粋。

- ① プチプチ生産に使用する主原料の再生比率について、**2020年実績値80%以上から【2025年までに100%レベル到達】**を目指します。
- ② **2030年までに**、プチプチ再生比率**100%**レベルのうち**55%以上**について、ポストコンシューマ使用（使用済みプチプチの再生原料を含む）を目指します。
- ③ **2030年までに**、①②の活動により**CO₂排出量20%削減**を目指します（2020年比）。



プチプチ環境宣言2030

～くうきとともにだちを持続できる社会へ

※講演で使用了た
資料の一部抜粋。

- ① プチプチ生産に使用する主原料の再生比率について、2020年実績値80%以上から【2025年までに100%レベル到達】を目指します。
- ② 2030年までに、プチプチ再生比率100%レベルのうち55%以上について、ポストコンシューマ使用（使用済みプチプチの再生原料化含む）を目指します。
- ③ 2030年までに、①②の活動によりCO₂排出量20%削減を目指します（2020年比）。



実際の回収ボックス



←は実際の設置画像です。

折畳できる仕様です→



生徒の皆様と仕上げて完成！↓



その他事例



製品ポイント

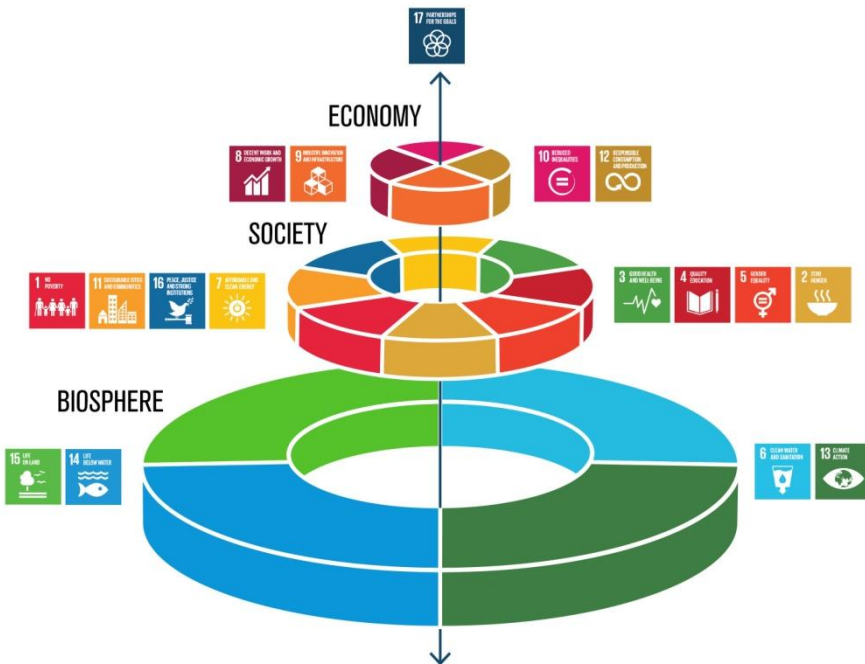
- ・ボックスは1ケースからお好みの形状で対応してまいります。
- ・素材自体（プラパール®）が再生原料70%以上！回収ボックス自体が資源化も可能！（オールプラで対応可能）



集めたプチプチ®で新たな製品を製造
＝リサイクルを体感してもらう！



今後の取り組み



出典: Stockholm Resilience Centre

国際学院中学高等学校様との取り組み

= 「SDGsウェディングケーキモデル」の最下層

「生物圏」に属する目標13-15と言えます。

= 持続可能な「社会圏」「経済圏」を達成するためには「生物圏」のそれぞれの目標達成が前提です。

→ 「生物圏」の目標を達成に向けた行動
 プラごみ削減とリサイクル、
 循環利用をより進めるために・・・

⇒ 皆様とパートナーシップ (目標17) を組み、
持続可能な社会を作り上げたいです。よろしくお願いします。